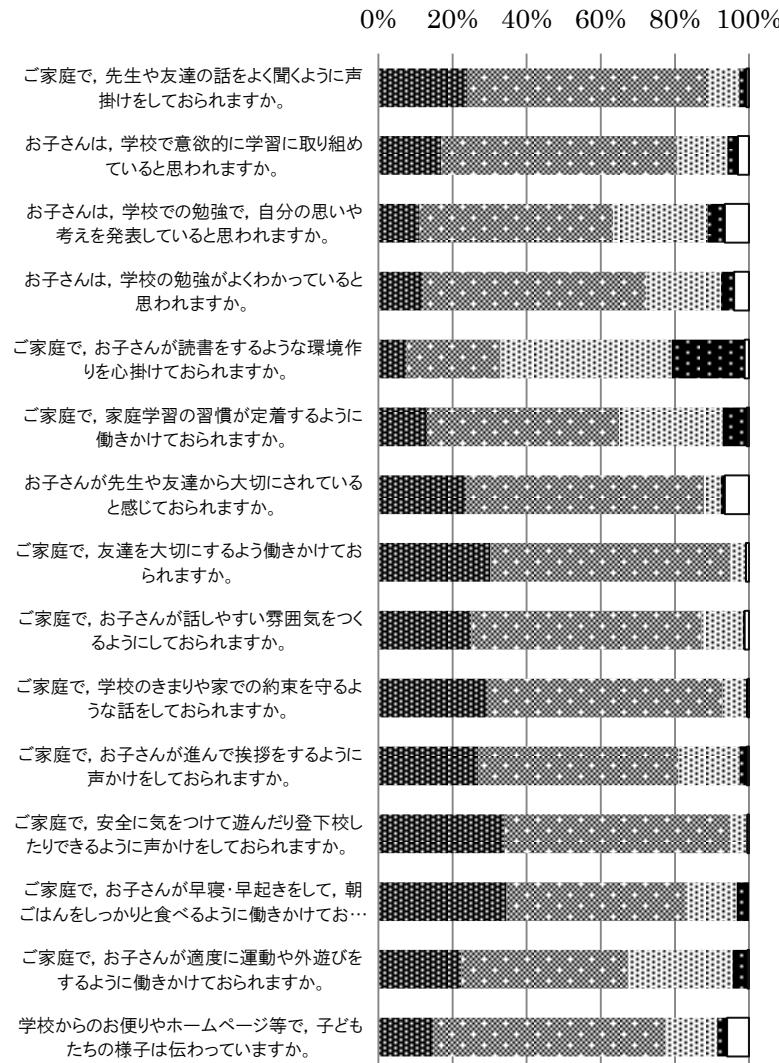


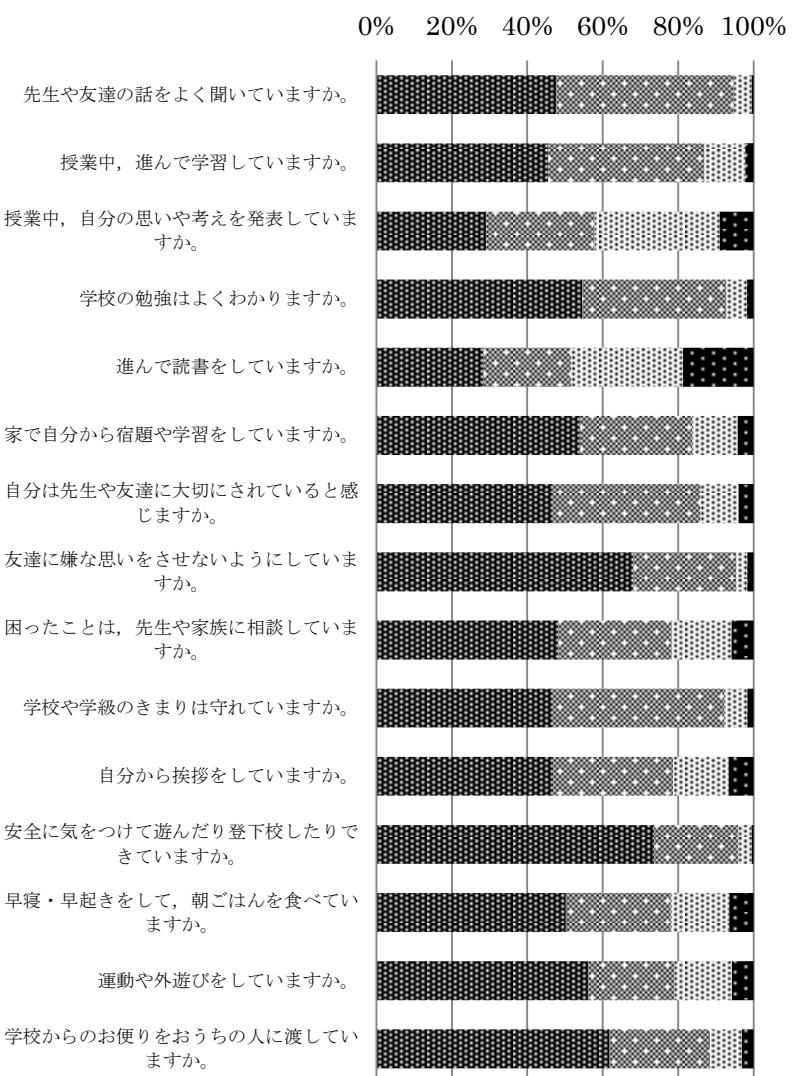
本年度前半の本校教育活動を振り返り、今後の教育活動の更なる向上のために実施いたしました「令和2年度第1回学校評価アンケート」の集計が終了いたしましたので、考察を加えてお知らせいたします。

全体の回答の様子をグラフでご覧ください。

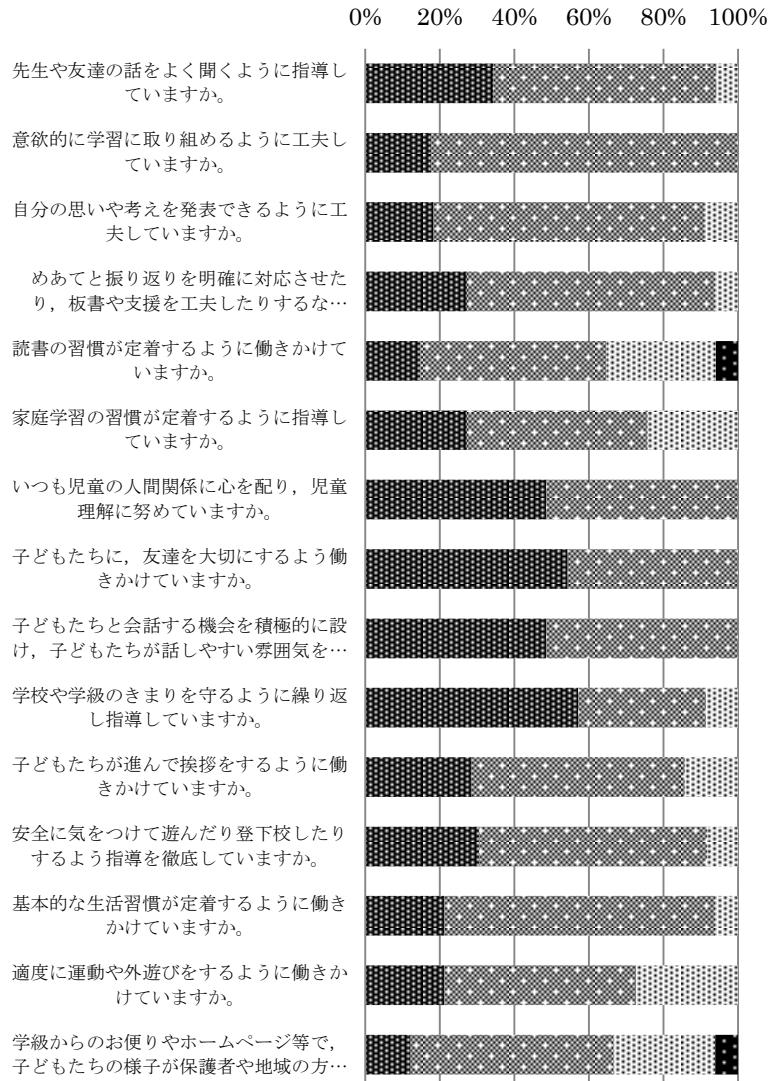
保護者



児童



教職員



■よくできている

■あまりできていない

□わからない

■だいたいできている

■できていない

■よくできている

■あまりできていない

■だいたいできている

■できていない

■よくできている

■あまりできていない

■だいたいできている

■できていない

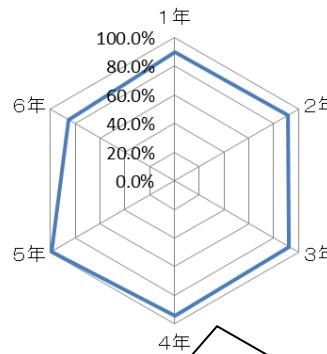


羽束師小学校 めざす子ども像

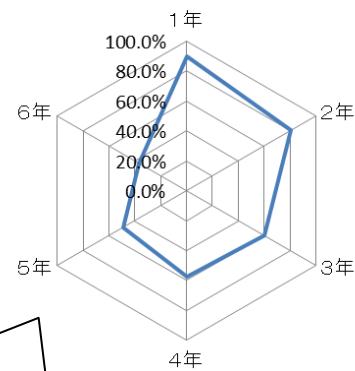
表面では回答の概要をご覧いただきました。

裏面では回答の集計を受け、考察を加えた項目や保護者の皆さまからいただいたご意見をお伝えいたします。子どもたちの学年による傾向も加えてみました。(比較のレーダーラフの値は「よくできている」「だいたいできている」を合わせた「できている群」の割合です。)

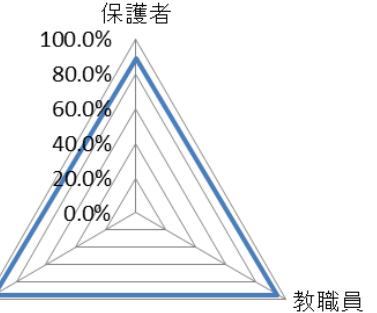
学校や学級のきまりは守っていますか。



進んで読書をしていますか。



話をよく聞くこと



やればできる！羽束師の子



めざす学校像

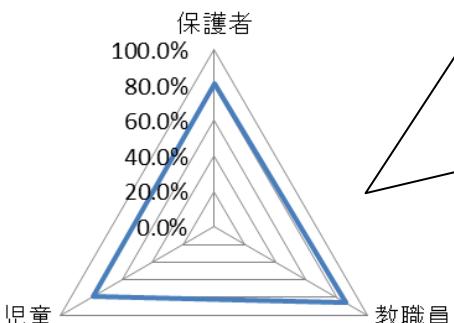
◇子どもが「楽しい！」と思う学校
◇『チーム羽束師』
『羽束師ファミリー』
◇学校運営協議会、地域、家庭との連携
～温かい学校、家庭、地域でこそ良い子が育つ～

全学年8割強の児童がきまりを守れていますと感じています。学校や学級のきまりを意識した行動ができるよう、これからも規範意識を高められるよう指導を充実させていきます。ご家庭でも一緒に温かく見守っていただきたいと思います。

進んで本を読んでいる児童は51.6%でした。読書の取組は、読解力だけでなく想像力や豊かな心を育むためにも大切です。休み時間に進んで学校図書館へ行く児童の姿も見られますが、学校でより読書の楽しさを味わえるような取組を進めていきます。今後もご家庭でも一緒に本を読む機会をもっていただけると幸いです。

保護者・児童・教職員の9割以上が、「話をよく聞いている」と評価しています。人の話を聞くことは、学習や生活においてとても重要なことです。コミュニケーション能力の一つとしても欠かせないのが話を聞く力です。また、話を聞くことは、相手を大切にすることにもつながることを子ども達に伝えていきます。

進んであいさつする



あいさつや感謝の言葉は人と関わる上でとても大切であると実感し、ご家庭でもしっかりと声かけをしていただいていることが伺えます。進んであいさつできる児童は78.6%でした。人の「つながり」のはじまりはあいさつからです。今後も、多くの児童が進んであいさつができるよう学校でも取組を進めていきます。

地域・学校運営協議会の方より

- 保護者の方に学力向上のためには、学校だけではなく家庭や地域の協力が必要だと呼びかけていきたい。
- コミュニケーションの第1歩として、あいさつは大切です。待つだけでなく、大人からの声かけが必要だと思います。
- 感染症拡大防止のため、地域の行事が縮小されています。今後は少しずつ地域の行事ができるようになってほしい。その際は、学校も協力していただけるとありがたいです。

お忙しい中、学校評価アンケートにて多数の貴重なご意見をいただきありがとうございました。紹介している内容以外でも、学校の取組に良い評価を頂いたご意見もありますが、改善すべき点をご指摘いただいたご意見もあります。いただいた全てのご意見を真摯に受け止め、さらに羽束師教育を進化させるよう、教職員一同精一杯努力して参ります。